

交遊抄

ヒグマと記念撮影 横内 龍三

日銀勤務などを経て還暦を迎えた年、私は北海道で地方銀行の経営に参加する機会を得た。佐野自動車工業の佐野博社長とは新任の挨拶回りで知床を訪れた際に知り合い、以来15年の付き合いになる。エネルギーシユな人柄と知床を愛する心が周囲を魅了する人だ。鍛え上げられた肉体を持ち、写真の腕前もプロ級だ。

忘れられない思い出がある。私が信州育ちで山歩きが好きだと伝えると、2回目の知床訪問時に大船頭の大瀬初三郎さんとともに「番屋」と呼ばれる漁の拠点を案内してくれた。そこで出くわした巨大なヒグマを見て佐野さんが一言。「横内さん、一緒に写真を撮りましょう」。怖がる私を引っ張って3人でヒグマと記念撮影した。

後に、大瀬さんと一緒なら熊には襲われないと知った。番屋で聞いた自然との共生の話も含め、強く印象に残った。

知床の自然保護や平和を祈る例祭が毎年6月に開かれる。開催地の知床毘沙門堂など3堂は、佐野さんが作家の故・立松和平さんと建立したものだ。今年は25回目の記念の年。今では私の年中行事になっており、今年も参列するのが楽しみだ。

いつも厚意に甘えてばかりだが、佐野さんにはこれからも知床の美しい自然の守り人であり続けてほしい。(よこうち・りゅうぞう―北洋銀行顧問)